

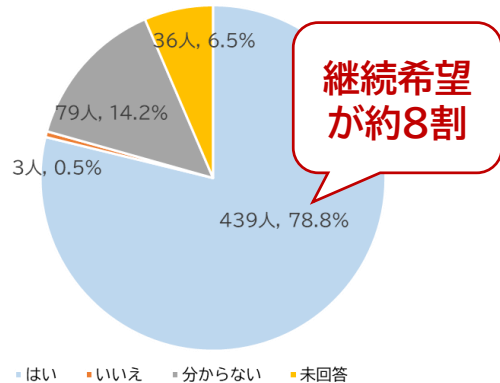
3. まとめ

3-1 社会実験の効果

■効果

⇒約8割の来訪者がほこみちの継続を希望、沿道事業者の6割からも継続を希望

図 来訪者のほこみち
継続の希望



※来訪者からの自由意見では、一部否定的な意見がありますが、多くの方から高評価を頂き、継続して欲しいとの意見を頂きました。

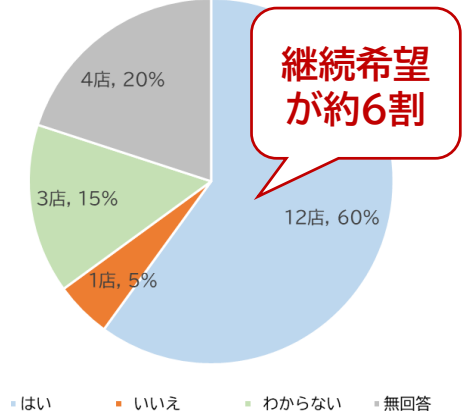
😊 評価、応援等の意見

- ・道路空間にベンチやハンモックがあるのがとても新鮮で楽しい。
- ・街なかにこういう場所はないので凄くありがたいです。
- ・普段歩く道とは違って面白い企画だと思いました。

😐 改善、問題点等の意見

- ・継続することでもっと認知度が向上すると思います。
- ・市民へのPRをもっと早めに、広くした方が良い。
- ・月一でいいからやってみても良いと思います。
- ・歩行者と自転車通行への配慮が必要

図 沿道事業者のほこみち指定の希望



※事業内容の説明不足等から、事業への課題も窺えましたが、比較的多くの事業者から、まずやってみようという意見がありました。

😊 積極的な意見

- ・やらないよりは、やったほうがいい。もっと沿線を巻き込んで！
- ・「当たり前」になると、使う人が出てくると思う。
- ・まずやってみて、良いことがわかれば、周りから声が掛かってくる。

😐 問題点の指摘

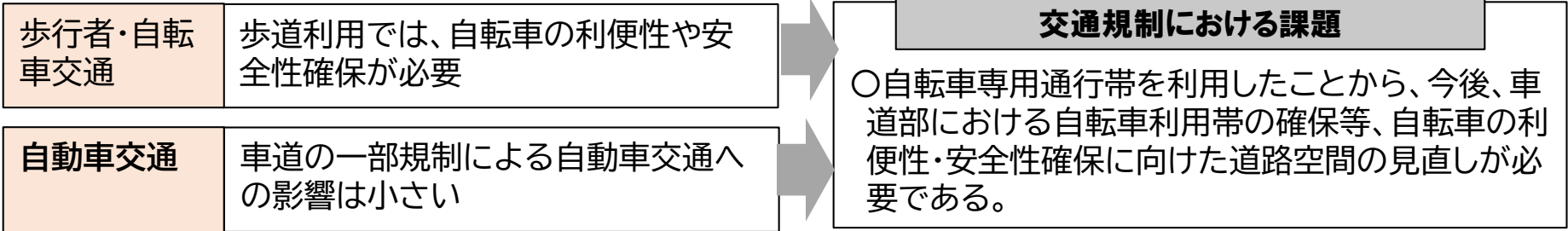
交通規制	・通行止めでなくても「規制」があるだけで交通量は減る。 ・交通規制について、配送がやりにくかった。
情報発信(広報)	・告知が遅すぎる、周知が足りなかった
イベント等	・自分の店の前で他の飲食店が出店するのは嫌。 ・駅前通りと吾妻通りでイベントをすると人が分散する

3-2社会実験の課題

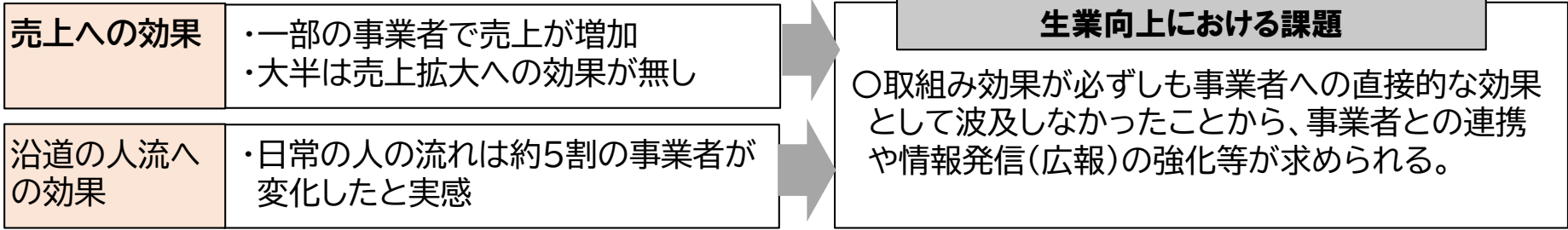
■3つの視点からの課題

- ⇒交通規制： 歩行者・自転車と自動車交通の利便性や安全性の改善が必要
- ⇒生業向上： 沿道商業者との連携と波及効果の拡大
- ⇒運営強化： 継続的な取り組みに向けた持続可能な体制づくり

①交通規制： 歩行者・自転車と自動車交通の利便性や安全性の改善が必要



②生業向上：沿道商業者との連携と波及効果の拡大



③運営強化： 継続的な取り組みに向けた持続可能な体制づくり

[現状]

吾妻通りの会

- ・設立して4年
- ・建物オーナーが中心

沿道商業者の意見

- 沿道商業者の特性
 - ・飲食店が中心(夜のみ営業が多い)
- 取り組みに向けた意向
 - ・まとまった組織が必要
 - ・横のつながりが重要
 - ・ルールづくり
 - ・他の通りとの連携も必要

[団体等意見]

企画運営チーム

- ・持続可能な体制づくり
- ・様々な団体等の参加
- ・横の繋がり確保
- ・時間をかけた準備
- ・ディレクターや広報の予算確保(期間限定)

街なか賑わい創出プロジェクト

- 関心度
 - ・回答頂いた団体が74社中7社と低い
- 組織体制等
 - ・中間支援組織の参加
 - ・広報活動等の支援
 - ・他の取組みとの連携

運営強化における課題

○サポート体制の構築

吾妻通りの会は設立期間が短く、また参加者が限られていることから、取り組み主体として、組織力が不足している状況である。

今後、参加者の拡大、サポート体制等の強化が必要不可欠である。

○ディレクターが必要性

関係者の連携を支援したり、事業の方向付けを取りまとめるような「道筋」をつける役割を担う専門性が強い人材の確保が求められる。

○受け皿となる組織が必要

吾妻通り会の賛助会や雑居ビル座談会などのような準備会の取り組みを後押しする受け皿の組織が求められる。

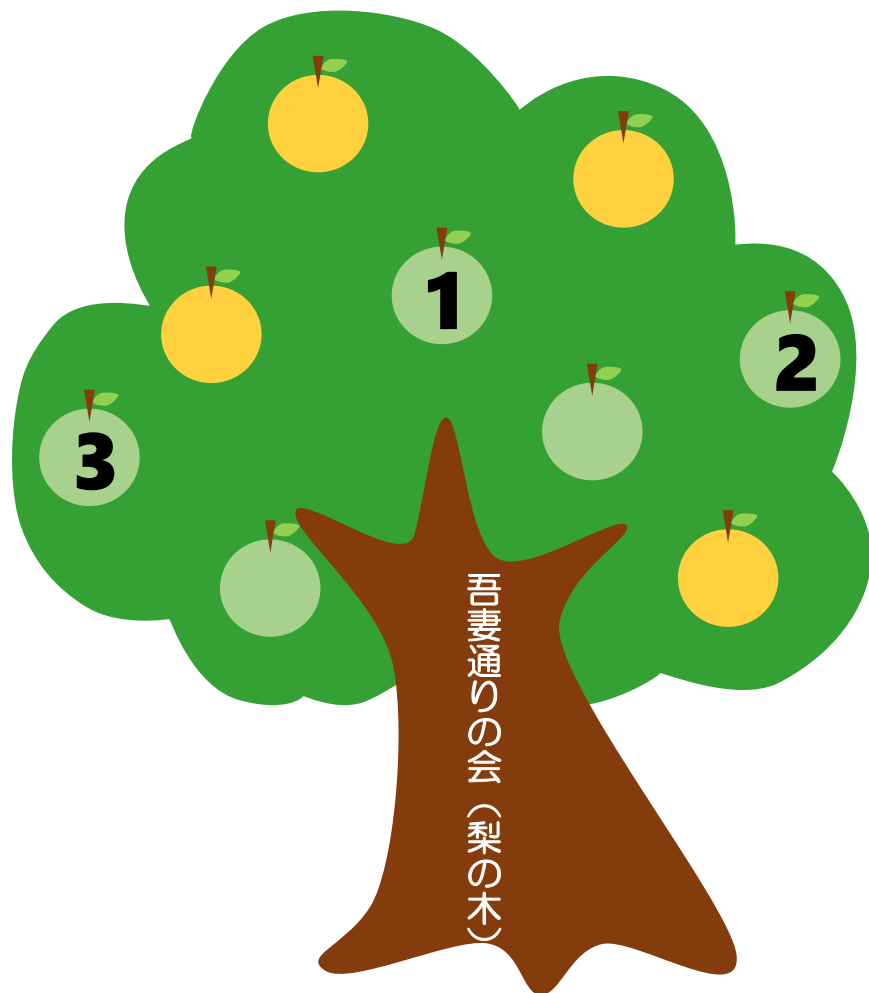
○企業や応援団の巻き込み

企業や応援団と継続的に連携することで、SMALLスタートの実現。

3-3継続的な取り組みに向けた進め方

方針1:社会実験から得られた課題の解決

⇒3つの課題解決に向けて自ら行動を起こし、1つ1つ解決することができるように
「さんかくストリート▲▲▲会」と市が連携して取り組む。



1

交通規制における課題(道路空間の見直し)

- ・車道部の自転車通行帯の確保
- ・自転車の利便性/安全性の確保

2

生業向上における課題

- ・事業者間の連携
- ・情報発信(広報)の強化

3

運営強化における課題

- 参画者の拡大、サポート体制の強化
- ・参画したい方の後押しする受け皿
- ・企業や応援団と連携する
- ディレクター人材の育成や発掘

方針2:機運が高まったこの好機を逃すことなく、まず、できるところから実施する“SMALL社会実験”。

⇒継続性を重視し、すぐにできる取り組み等から始め、段階的に取り組みを拡大していく。

- ・直ぐにできる取り組みの実施。(例)音楽や花植え等の環境改善、広報活動の拡大等
- ・関係団体と連携した民間による小さな社会実験の実施。

さんかくストリートの

機運の醸成

▲ほこみち社会実験

▲道路空間の活用

- ・憩いを与える環境づくり
- ・日常から非日常の
グラデーションイベントづくり

- △交通規制における課題
- △生業向上における課題
- △運営強化における課題

△○○○○
△○○○○
△○○○○

△○○○○
△○○○○
△○○○○



“SMALL社会実験”

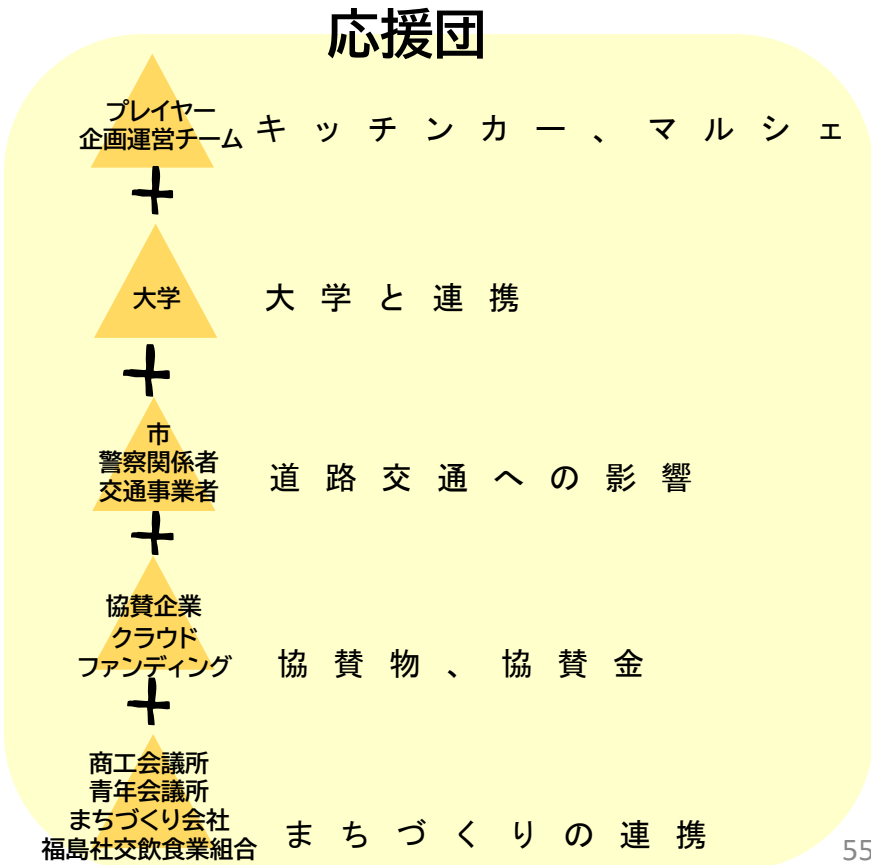
- ・大学等と連携した取り組みのチャレンジ
- ・環境施設等のデザイン改善
- ・小規模なイベント等の実施

年次を追うごとに
仲間が増える！

3-4体制づくり

■体制の考え方

- ⇒自立・自走に向けて、沿道事業者等の参加・連携、さらに応援団等の支援拡大を図ることが必要。
- ・吾妻通りの会に新規の賛助会員を募り、ディレクターによるつながりを持った沿道事業者との連携。
 - ・大学等の関係団体と連携した取り組みの企画・運営の実施
 - ・事業推進のサポート強化に向け、様々な関係者による応援団の拡大



3-5全体スキーム(案)

■今後の進め方

来訪者、沿道事業者のアンケートや企画運営チームの意見等から、今後の進め方における重要なポイントとして体制づくりと、できるところから行う取り組みがまとめられました。

スキーム 方針

- ①継続的な取り組みに向けた体制づくり
- ②**まず、できるところから実施**する、“SMALL社会実験”の繰り返しによる取り組みの浸透と拡大

